

IBM

@server

統合 xSeries アダプター (IXA)

バージョン 5 リリース 3





@server

統合 xSeries アダプター (IXA)

バージョン 5 リリース 3

統合 xSeries アダプター

このトピックでは、統合 xSeries® アダプター (IXA) を iSeries™ サーバーの付属品として取り付ける方法について説明します。これはお客様ご自身で行うこともできますが、サービス提供元と連絡を取り、実行を依頼することもできます。その場合、そのサービス提供元が行うサービスに関して料金が発生する場合があります。

2004 年 10 月現在の新しい情報: このバージョンの『統合 xSeries アダプター』のトピックには、次の更新が含まれています。

- マシン・タイプ 1519 モデル 200-2689 カードに関する情報が追加されました。
- xSeries 236 の取り付けに関する情報が追加されました。
- xSeries 346 の取り付けに関する情報が追加されました。
- その他にもいくつかの技術上の変更が加えられています。
- このトピックは PCI アダプターのトピックから分けられました。

2004 年 4 月現在の新しい情報: このバージョンの『統合 xSeries アダプター』のトピックには、次の更新が含まれています。

- xSeries 365 の取り付けに関する情報が追加されました。
- その他にもいくつかの技術上の変更が加えられています。

統合 xSeries アダプター (IXA) は、カード番号 2689、またはマシン・タイプ 1519 モデル 100 またはモデル 200 によって識別されます。xSeries サーバーに取り付けるモデルは、ご使用の xSeries サーバーのタイプによって異なります。必要な xSeries サーバーの資料を参照して、手順のいくつかを完了してください。

先に進む前に、iSeries 統合 xSeries ソリューションの Web サイト

<http://www.ibm.com/servers/eserver/iseries/integratedxseries/> を参照することをお勧めします。このサイトには、統合 xSeries アダプターに関する最新情報が掲載されています。これには、iSeries システムに統合される Windows® サーバーの実行に必要なプログラム一時修正 (PTF) に関する情報が含まれます。

iSeries 統合 xSeries ソリューションの Web サイトには、取り付けプロセスを支援する補足的なビデオもあります。このビデオは、最新バージョンの IXA の CD に含まれています。

統合 xSeries アダプターを取り付けるには、『統合 xSeries アダプターの取り付け』にある指示に従ってください。

統合 xSeries アダプターの取り付け

次の手順を使用して、マシン・タイプ 1519 モデル 100-2689 カードまたはマシン・タイプ 1519 モデル 200-2689 カードを取り付けます。

前提条件

取り付けを開始する前に、次のものが揃っているか確認してください。

- マシン・タイプ 1519 モデル 100-2689 または 200-2689 カード・アセンブリー。以下を含みます。
 - 統合 xSeries アダプター・カード (CCIN 2689)。

- RS-485 シールド・ケーブル、黒 (P/N 21P4162)。
- RS-485 シールド・ケーブル、グレー (P/N 01R1484)。このケーブルは、マシン・タイプ 1519 モデル 100 EC レベル H86427 以降に同梱されています。このケーブルは、必要な場合、別途注文することができます。

注: このケーブルは、xSeries 366 モデルでのみ使用可能です。他の xSeries モデルにはこのケーブルを使用しないでください。

- システム電源制御ネットワーク (SPCN) 接続ブロック (P/N 04N2652)。
- 拡張システム管理 (ASM) 相互接続モジュール (P/N 03K9315)。 xSeries モデルによっては不要な場合もあります。
- 終端プラグ (P/N 59P2951)。 xSeries モデルによっては不要な場合もあります。
- 高速リンク (HSL) ケーブル・ストレイン・リリーフ (P/N 97P6530)。これはマシン・タイプ 1519 モデル 200 にのみ付属しています。 xSeries モデルによっては不要な場合もあります。
- リモート管理アダプター・オプション (P/N 09N7585 または地域によって異なる同等品の部品番号) またはリモート管理アダプター II オプション (P/N 59P2984 または地域によって異なる同等品の部品番号)。 xSeries モデルによっては必要な場合があります。また、リモート管理アダプター II SlimLine オプション (P/N 73P9341) が必要になる場合がある xSeries モデルもあります。各モデルについては以下を参照してください。
- 磁気ディスク機構のない xSeries サーバー
- xSeries サーバー用のマウス、キーボード、およびモニター。(これらは KVM スイッチを使用して接続することもできます。)
- 高速リンク (HSL) ケーブル。(HSL ループに複数のケーブルが必要になる場合があります。)
- システム電源制御ネットワーク (SPCN) ケーブル。(SPCN ループに複数のケーブルが必要になる場合があります。)
- マシン・タイプ 1519 モデル 100 の場合はバージョン 5 リリース 1 以上のオペレーティング・システム、またはモデル 200 の場合バージョン 5 リリース 2 以上のオペレーティング・システム。

サーバーの準備

カードを取り付ける前に、ブート障害カウンターおよびウイルス検出をオフにする必要があります。

- ___ 1. xSeries サーバーの電源を入れます。
- ___ 2. IBM® eServer™ ロゴが表示されたらすぐに F1 を押し、セットアップに進みます。
- ___ 3. 「開始オプション (Start Options)」を選択します。 Enter キーを押します。
- ___ 4. 下矢印 (↓) を使用して、「ブート障害カウント (Boot Fail Count)」を選択します。
- ___ 5. 右矢印 (→) を使用して、値を「使用不可 (Disabled)」に変更します。
- ___ 6. 下矢印 (↓) を使用して、「ウイルス検出 (Virus Detection)」を選択します。
- ___ 7. 右矢印 (→) を使用して、値を「使用不可 (Disabled)」に変更します。
- ___ 8. **Esc** を 2 回押して、終了します。
- ___ 9. 「設定の終了」画面から「はい」を選択します。
- ___ 10. xSeries サーバーの電源を切ります。電源オフの手順については、xSeries と一緒に受け取った情報を参照してください。

注: xSeries サーバーに取り付けられている拡張システム管理ハードウェア用の、デフォルトの遠隔サインオン・ユーザー ID/パスワード (USERID/PASSWORD) は変更しないでください。変更すると、サーバ

ーは xSeries サーバーと通信できなくなります。拡張システム管理ハードウェアを永続的にネットワークに接続することは、IXA が接続されている xSeries サーバーに対するサーバーの制御に支障をきたすので勧められていません。

サーバー・ファームウェアのダウンロード

IXA カードを取り付ける前に、xSeries サーバーのシステム基本入出力システム (BIOS) および拡張システム管理ファームウェアを最新版に更新するようにお勧めします。ファームウェアは、以下の手順で <http://www.pc.ibm.com/support> からダウンロードすることができます。

- 1. メイン・ページの「**Use Quick path**」フィールドに、xSeries サーバーの製品番号を入力します。
- 2. 「**Go**」をクリックします。
- 3. サーバーのメイン保守ページの「View by document type」メニューで、「**Downloads and drivers**」リンクを選択します。
- 4. 次のページで **BIOS** の見出しを検索し、「**Flash BIOS Update (DOS Update Package)**」のリンクを選択します。

重要: 必ず DOS バージョンのパッケージを使用してください。更新はオペレーティング・システムのインストールの前に行われるためです。
- 5. 次のページには、自己解凍型の実行可能ファイルをダウンロードするためのリンクが含まれています。自己解凍により、更新用ディスク、および更新について説明したテキスト・ファイルが作成されます。また、ダウンロード方法とディスクの作成方法を記述したリンクも含まれています。指示に従ってディスクを作成します。
- 6. ディスクの作成が完了したら、ブラウザーの「戻る」ボタンをクリックして、メインの「Downloads and drivers」ページに戻ります。
- 7. このページで、xSeries サーバーで使用する適切な拡張システム管理ハードウェアの見出しを探し、該当するリンクをクリックします。サーバーによっては、見出しのタイトル/リンクが次のいずれかのようにになっているものがあります。
 - 「Advanced Systems Management」見出し/「Advanced System Management Processor firmware」リンク
 - 「Remote Supervisor Adapter」見出し/「Remote Supervisor Adapter Firmware update (DOS update package)」リンク
 - 「Remote Supervisor Adapter II」見出し/「Remote Supervisor Adapter II Firmware update or Remote Supervisor Adapter II Firmware update (Packet files only)」リンク
- 8. 次のページの内容は、ご使用の xSeries サーバーの拡張システム管理ハードウェアのタイプによって異なります。
 - 拡張システム管理プロセッサまたはリモート管理アダプターのハードウェアの場合、ページにはアップデート・ディスクを作成するための 1 つ以上の自己解凍型実行可能ファイルと、更新を説明したテキスト・ファイルをダウンロードするためのリンクがあります。また、ディスクのダウンロードおよび作成方法に関する説明へのリンクもあります。指示に従ってディスクを作成します。
 - リモート管理アダプター II ハードウェアの場合はどれも、ページに .zip ファイル (更新パッケージが圧縮されている) と更新を説明したテキスト・ファイルをダウンロードするためのリンクがあります。 .zip ファイルをダウンロードし、そのファイルからパッケージをディスクに抽出する必要があります。
- 9. 直前のステップを完了したら、ブラウザーの「戻る」ボタンをクリックして、「Downloads and drivers」メイン・ページに戻ります。

__ 10. xSeries サーバーのモデルによっては、更新が必要な別の拡張システム管理ハードウェア・コンポーネントがほかにもあるかもしれません。「**Advanced Systems Management**」のヘッディングの下から以下のいずれかを見付けて、適切なリンクをクリックして、ダウンロードします。

- Integrated System Management Processor update
- Baseboard Management Controller update

BIOS をダウンロードし、BIOS 用のディスクットを作成します。

__ 11. ダウンロードが完了したら、『サーバー・ファームウェアの更新』に進みます。

サーバー・ファームウェアの更新

IXA カードを取り付ける前に、xSeries サーバーのシステム BIOS および拡張システム管理ファームウェアを最新版に更新するようにお勧めします。ご使用の xSeries モデルでリモート管理アダプター・オプションが必要な場合は、このファームウェアを更新する前に取り付ける必要があります。作業を続行する前に、モデル固有の指示を参照して、ご使用の xSeries モデルでこのオプションが必要かどうかを確認してください。システム BIOS および拡張システム管理ファームウェアの最新版は、ダウンロードすることができます。詳しい情報は、3 ページの『サーバー・ファームウェアのダウンロード』を参照してください。

注: 以下の手順は、サーバー・ファームウェアの更新に関する一般ガイドラインです。この更新を実行するときは、ダウンロード・ディスクットに含まれている README ファイルを参照してください。

システム BIOS の更新

- __ 1. xSeries サーバーの電源を入れます。
- __ 2. プロンプトが出されたら、最新のシステム BIOS が含まれているディスクットを挿入します。
- __ 3. F1 を押します。
- __ 4. オプション 1「**POST/BIOS の更新**」を選択し、Enter を押します。
- __ 5. フラッシュ ROM 内で現行コードをバックアップ位置に移動するため、「**Y**」を選択します。
- __ 6. 次に表示される製造番号やモデル/タイプなどに関するいくつかのプロンプトで、「**N**」を選択します。
- __ 7. 「**現行フラッシュ・コードをディスクに保管 (Save current flash code to disk)**」プロンプトで、「**N**」を選択します。
- __ 8. 適切な言語を選択します。更新が始まります。
- __ 9. 更新が完了したら、ディスクットを取り出し、Enter キーを押してシステムを再起動します。

拡張システム管理ファームウェアの更新

この手順は、リモート管理アダプター II 以外の拡張システム管理ハードウェアが取り付けられているシステムにのみ当てはまります。リモート管理アダプター II については、5 ページの**リモート管理アダプター II またはリモート管理アダプター II SlimLine ファームウェアの更新**を参照してください。統合システム管理プロセッサおよびベースボード管理コントローラーに関する更新手順はここでは取り上げません。この手順は xSeries サーバーのモデルによって異なるためです。更新手順については、ディスクットの README ファイルを参照してください。

拡張システム管理ファームウェアを更新するには、次の手順を行います。

- __ 1. xSeries サーバーの電源を入れます。
- __ 2. 「ディスクットの挿入 (Insert diskette)」画面からプロンプトが出されたら、拡張システム管理プロセッサ用ファームウェアまたはリモート管理アダプター用ファームウェアが含まれるディスクット番号 1 を挿入します。

- __ 3. F1 を押します。
- __ 4. 「IBM 遠隔監視ユーティリティ」画面で、「システム管理ファームウェアの更新 (Update System Management Firmware)」を選択します。
- __ 5. Enter キーを押します。
- __ 6. 「通常フラッシュ — 全サブシステム (Normal Flash — All subsystems)」を選択します。
- __ 7. Enter キーを押します。
- __ 8. 特定のファイルが含まれる別のディスクットの挿入を求めるプロンプトが出されたら、他のファームウェア・ディスクットを挿入します。このプロンプトは何度も表示される場合があります。
- __ 9. Enter キーを押します。
- __ 10. 「拡張管理ファームウェア更新の完了 (Advanced Management firmware update completed)」画面で Enter を押します。
- __ 11. 「IBM 遠隔監視ユーティリティ」画面で、「ユーティリティの終了 (Exit Utility)」を選択します。
- __ 12. Enter キーを押します。完了したらサーバーの電源を切ります。

リモート管理アダプター II またはリモート管理アダプター II SlimLine ファームウェアの更新

この手順を実行するには、イーサネット・ネットワークに接続可能で、Web ブラウザー・ソフトウェアを実行できる別のコンピューター 1 台が必要です。コンピューターの IP アドレスを、リモート管理アダプター II のデフォルト IP アドレス・サブネットと一致するよう 192.168.70.101 に、そしてサブネット・マスクを 255.255.255.0 に設定します。コンピューターとリモート管理アダプター II を、イーサネット・クロスケーブル 1 本、またはハブ 1 台とイーサネット・ケーブル 2 本を使用して、単イーサネット構成で接続します。この接続には必ずリモート管理アダプター II のイーサネット・ポートを使用してください。xSeries サーバーのイーサネット・ポートの中にはこの手順で使用できないものもある場合があります。

リモート管理アダプター II またはリモート管理アダプター II SlimLine ファームウェアを更新するには、次のようにします。

- __ 1. xSeries サーバーの電源を切ります。
- __ 2. リモート管理アダプター II が接続されたコンピューターのディスクット・ドライブに、ダウンロード済みファームウェア更新が入ったディスクットを挿入します。
- __ 3. 付属コンピューターで Web ブラウザー・ウィンドウを起動し、URL フィールドに 192.168.70.125 と入力します。
- __ 4. 小さなサインオン・ウィンドウが表示されるまで数分待ちます。
- __ 5. ユーザー名 (ユーザー ID) とパスワード (PASSWORD) (0 は英字の O ではなくゼロ) を入力してサインオンします。
- __ 6. 次の画面でタイムアウト値を選択します。
- __ 7. 次の画面の左側にあるナビゲーション・ペインを確認します。
- __ 8. 「ファームウェア更新 (Firmware Update)」オプションを選択します。
- __ 9. 次の画面で「参照」を選択してファームウェア更新が含まれているディスクットにアクセスします。
- __ 10. .PKT または .PKC 拡張子が付けられた 2 つのファイルのうちの 1 つを選択し、「開く (Open)」を選択します。選択したファイルの絶対パスが「参照」フィールドに表示されます。

- __ 11. 更新処理を開始するには、「更新」をクリックします。リモート管理アダプター II の一時記憶域にファイルを転送している間は、進行標識が表示されます。ファイル転送が完了すると、確認画面が表示されます。
- __ 12. 「ファームウェア更新の確認 (Confirm Firmware Update)」画面に表示されているファイルが、更新するファイルであることを確認します。ファイルが違う場合は、「取り消し (Cancel)」をクリックします。
- __ 13. 更新処理を完了するには、「続く (Continue)」をクリックします。リモート管理アダプター II のファームウェアが明滅している間は、進行標識が表示されます。更新が正常に完了すると、確認画面が表示されます。
- __ 14. ディスケット上の他の .PKT または .PKC ファイルについて上記の更新処理を繰り返します。
- __ 15. 一部のサーバーのリモート管理アダプター II には共有シリアル/ASM 相互接続ポートがある場合があります。このポートのために ASM 相互接続サポートを使用可能にする必要があります。画面の左側にあるナビゲーション・ペインを確認し、存在する場合、「シリアル・ポート (Serial Port)」オプションを選択します。
- __ 16. COM2 のメニューに「ASM 相互接続 (ASM Interconnect)」があれば、これを選択します。
- __ 17. 両方の更新が完了したら、ナビゲーション・ペインで「ASM の再始動 (Restart ASM)」を選択して、リモート管理アダプター II を再起動します。
- __ 18. 「OK」をクリックして、再起動することを確認します。
- __ 19. ブラウザー・ウィンドウを閉じるように促す画面が表示されます。「OK」をクリックして先に進みます。
- __ 20. ブラウザー・ウィンドウを閉じたら、リモート管理アダプター II のイーサネット・ポートからケーブルを外します。

注: リモート管理アダプター II を永続的にネットワークに接続することは、IXA が接続されている xSeries サーバーに対するサーバーの制御に支障をきたすので勧められていません。

統合システム管理プロセッサまたはベースボード管理コントローラー・ファームウェアの更新

1. xSeries サーバーの電源を入れます。
2. プロンプトが出されたら、最新のファームウェア更新が含まれているディスクを挿入します。
3. **F1** を押します。
4. そうするとサーバーがブートしてメイン・オプション・メニューが表示されるか、またはファームウェア更新のロードが直接始まります。メニューが表示されたら、ファームウェアを更新するオプションを選択します。これは「システム管理プロセッサの更新 (Update System Management Processor)」というようなオプションです。
5. 更新が完了したら、ドライブからディスクを取り出し、**Enter** キーを押してシステムを再起動します。

カード配置

異なるサーバー内での xSeries カード配置については、以下の統合アダプターのリストを参照してください。現在の xSeries サーバーのリストについては、次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/servers/eserver/series/integratedxseries/>

サーバー	カード位置
7100	1 または 2
7600	1 または 2

xSeries 235	5 (モデル 11X、1AX、21X、2AX、31X、3AX、41X、4AX の場合、カード位置 4 を使用)
xSeries 236	4
xSeries 250	1 または 2
xSeries 255	2
xSeries 346	4
xSeries 350	2
xSeries 360	3
xSeries 365	3
xSeries 366	2
xSeries 440	2
xSeries 445	2

カードの取り付け

マシン・タイプ 1519 モデル 100 カードを取り付ける xSeries サーバーを選択します。

- 『サーバー 7100、7600 または xSeries 250』
- 11 ページの 『xSeries 235』
- 20 ページの 『xSeries 255』
- 29 ページの 『xSeries 350』
- 33 ページの 『xSeries 360』
- 37 ページの 『xSeries 365』
- 42 ページの 『xSeries 366』
- 46 ページの 『xSeries 440』
- 50 ページの 『xSeries 445』

マシン・タイプ 1519 モデル 200 カードを取り付ける xSeries サーバーを選択します。

- 16 ページの 『xSeries 236』
- 25 ページの 『xSeries 346』

サーバー 7100、7600 または xSeries 250

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

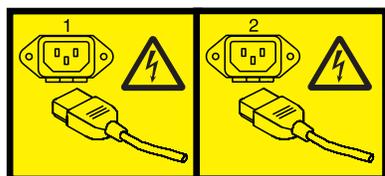
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

- 1. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 2. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



___ 3. 重要:

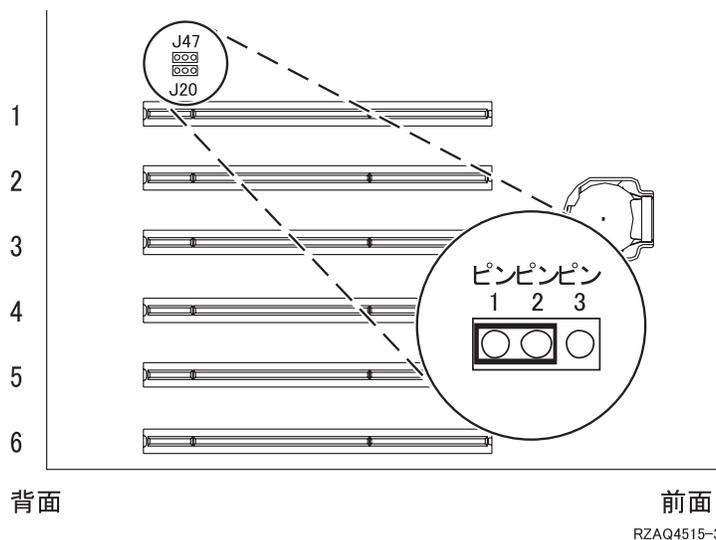
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

___ 4. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

___ a. カード位置 1 に取り付けるには J47 を、カード位置 2 に取り付けるには J20 を探し出します。



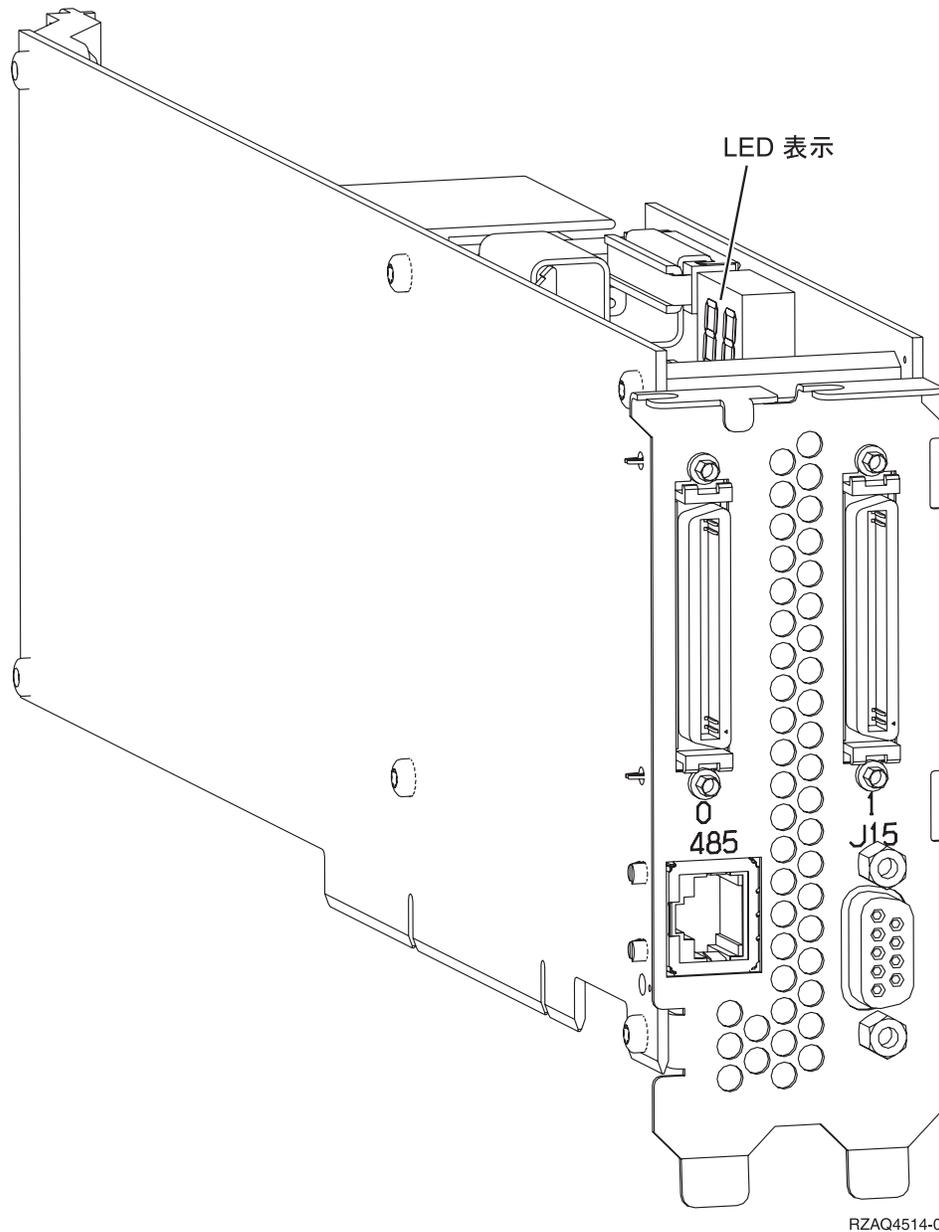
___ b. ジャンパーを、ピン 2 および 3 からピン 1 および 2 に移動します。

注: J47、または J20 にアクセスするには、メモリー・カードを取り外す必要があります。ご使用の xSeries サーバー情報を参照してください。

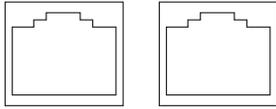
- 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 1 または 2 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。

- 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. ケーブルのもう一方の端をサーバーのどちらかの RS-485 ポートに接続します。



A RS485 B

RZAQ4517-0

- __ 10. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 11. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 12. iSeries サーバーを始動します。
- __ 13. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 14. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 235

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

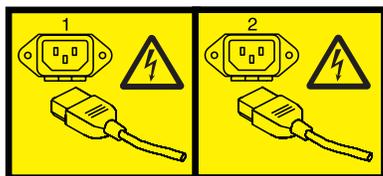
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

1. 統合 xSeries アダプター (IXA) カードを取り付ける前に、リモート管理アダプター・カード (P/N 09N7585 または地域ごとの互換値) またはリモート管理アダプター II カード (P/N 59P2984 または地域ごとの互換値) をこのサーバーに取り付ける必要があります。リモート管理アダプター・カードの取り付けについては、xSeries の資料を参照してください。リモート管理アダプター II の取り付けについては、リモート管理アダプター II の資料を参照してください。リモート管理アダプターまたはリモート管理アダプター II に付属している外部電源機構は取り付けしないでください。
xSeries モニターを、内蔵型の xSeries ビデオ・コネクタではなく、リモート管理アダプター II のビデオ・コネクタに接続します。リモート管理アダプターの取り付けが完了したら、システム BIOS とリモート管理アダプターのファームウェアを最新レベルに更新する必要があります。詳しい情報は、4 ページの『サーバー・ファームウェアの更新』を参照してください。
2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
3. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



- 4. モデル 11X 1AX、21X、2AX、31X、3AX、41X、および 4AX の場合、xSeries 情報を参照してカードをカード位置 4 に取り付けます。(他の資料でカード位置 5 が指定されていても、カード位置 4 に取り付けてください。)
- 5. その他のモデルについては、以下の作業を行います。

a. **重要:**

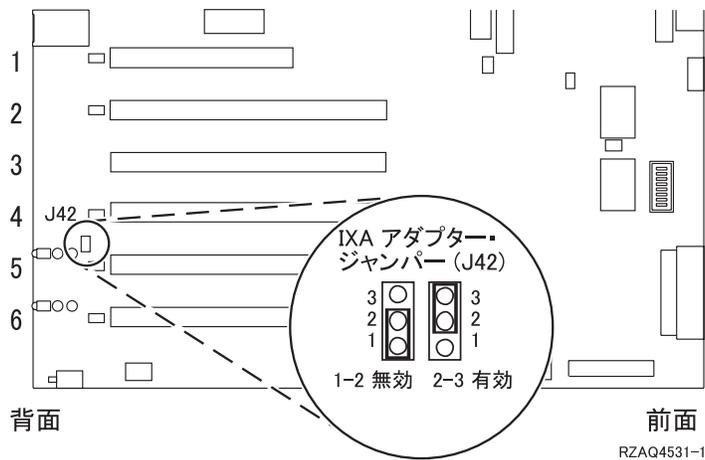
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

b. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

- 1) J42 の位置を確認します。



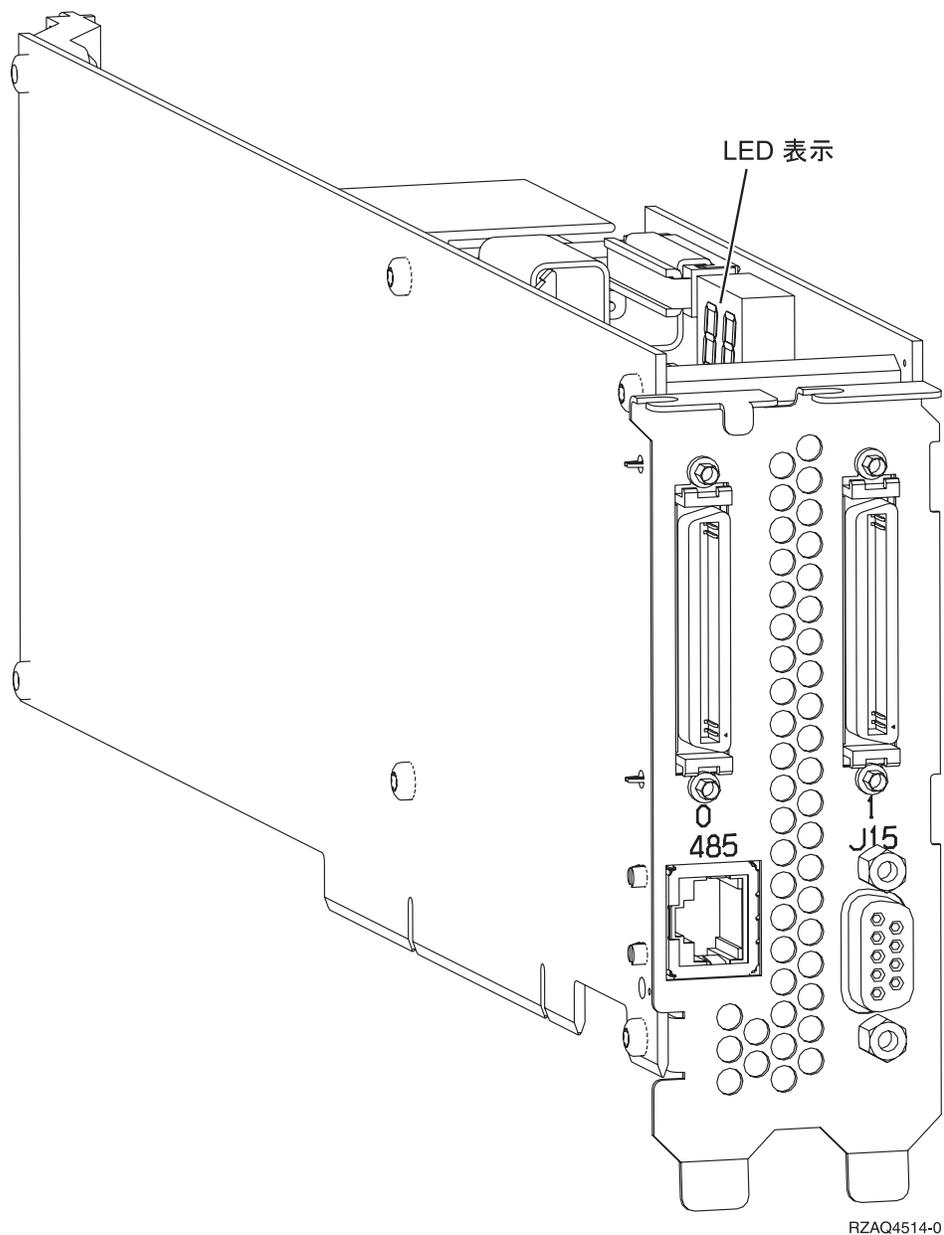
__ 2) ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。

c. xSeries 情報を参照して、カード位置 5 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に IXA カード・エクステンダーを取り外す必要があります。

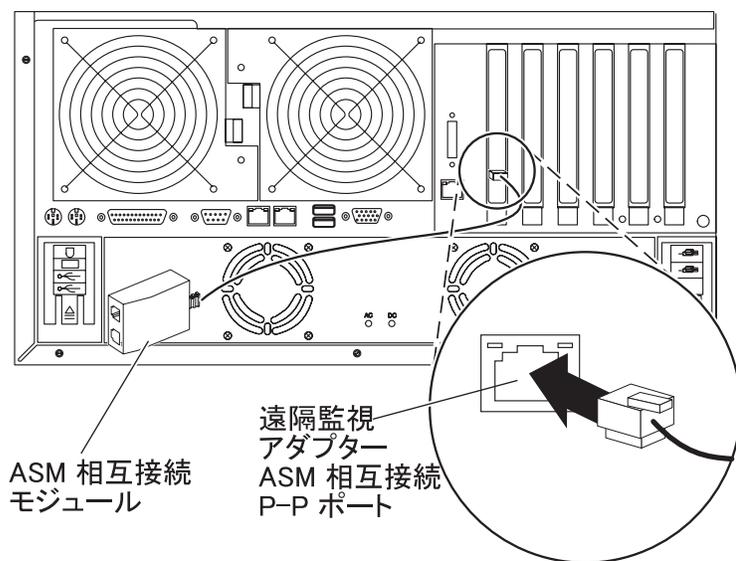
__ 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。

__ 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- __ 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- __ 9. 取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、ケーブルのもう一方の端を以下のいずれかのように接続します。
 - リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。
 - リモート管理アダプター II が取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を、リモート管理アダプター II に含まれている拡張システム管理ブレイクアウト・ケーブル上の 2 つの ASM RS-485 コネクターのどちらかに接続します。
- __ 10. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM 相互接続モジュールまたは ASM ブレイクアウト・ケーブルの未使用ポートに接続します。
- __ 11. 取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、以下のいずれかを実行します。

- リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ASM 相互接続モジュールの末端を、リモート管理アダプター ASM 相互接続ポート 485 に接続します。



RZAME504-1

- リモート管理アダプター II が取り付けられている場合、拡張システム管理ブレイクアウト・ケーブルの末端を、リモート管理アダプター II (取り付けられていない場合) の ASM コネクターに接続します。詳しい情報は、リモート管理アダプター II の資料を参照してください。

- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 236

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

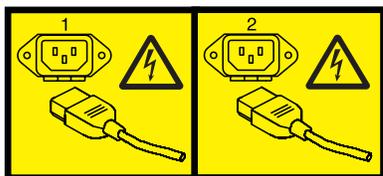
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

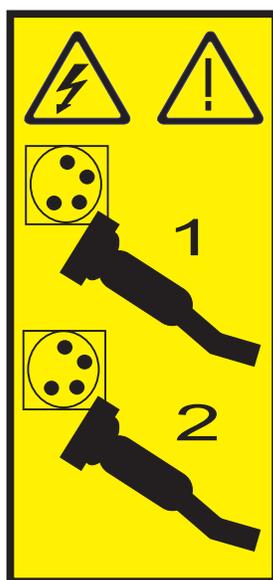
- 1. 統合 xSeries アダプター (IXA) カードを取り付ける前に、リモート管理アダプター II SlimLine オプション (P/N 73P9341) をこの xSeries サーバーに取り付ける必要があります。一部の xSeries 236 モデルは、リモート管理アダプター II SlimLine オプションがすでに取り付けられた状態で出荷されます。リモート管理アダプター II SlimLine オプションの取り付けについては、リモート管理アダプター II SlimLine オプションの資料を参照してください。xSeries サーバーにリモート管理アダプター II SlimLine オプションを取り付けた後、xSeries サーバーの BIOS、ベースボード管理コントローラー・ファームウェア、およびリモート監視アダプター II SlimLine オプション・ファームウェアを最新レベルに更新する必要があります。詳しくは、4 ページの『サーバー・ファームウェアの更新』を参照してください。
- 2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 3. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



— 4. 重要:

静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

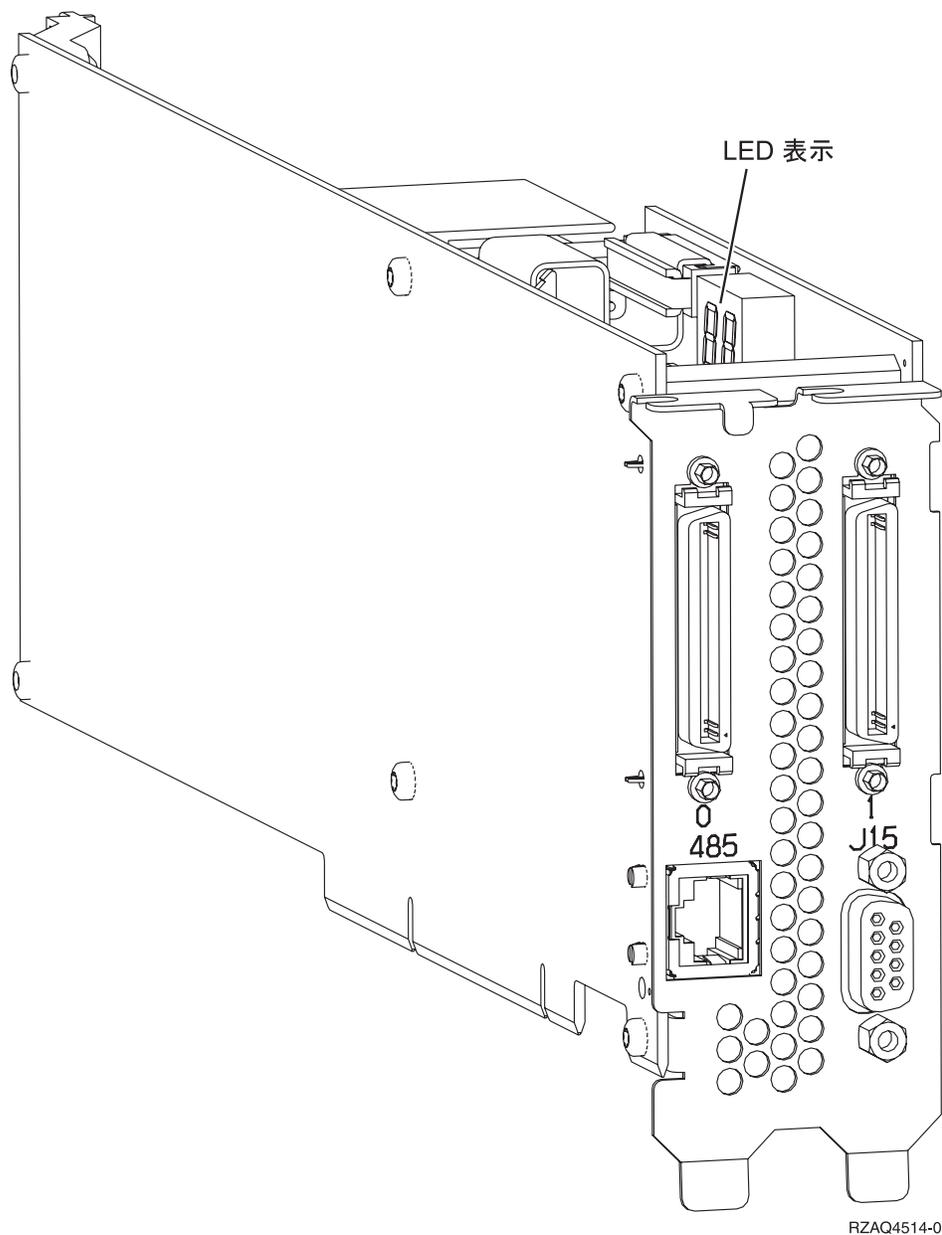
リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

— 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 4 にカードを取り付けます。

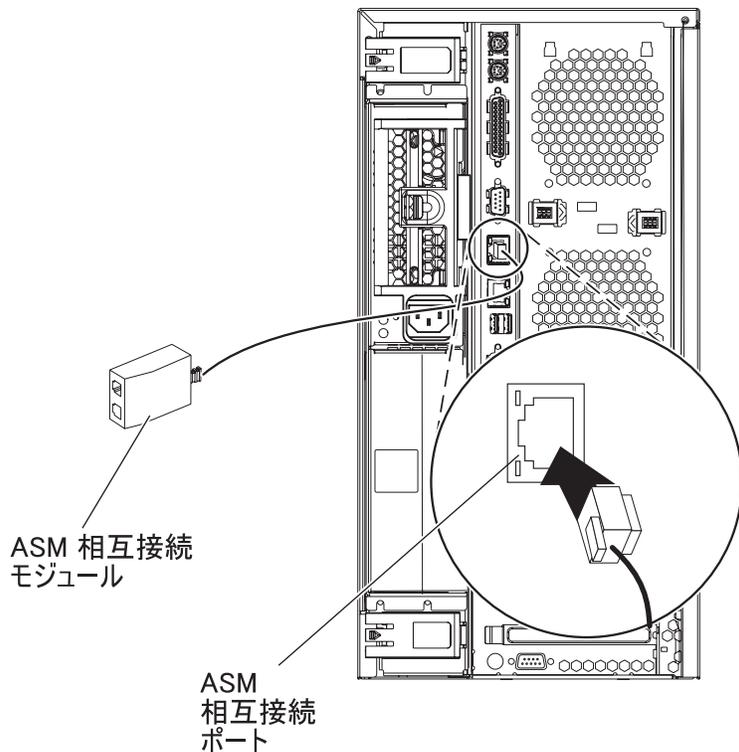
注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に、そこから青いカード・エクステンダーを取り外す必要があります。

— 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。

— 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. RS-485 シールド・ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。
- 10. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM 相互接続モジュールの未使用のポートに接続します。
- 11. ASM 相互接続モジュールの末端プラグを xSeries サーバーの背面の RS-485 (ASM 相互接続) ポートに接続します。



IPHBE501-2

- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 255

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

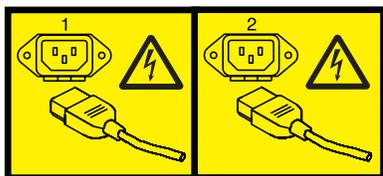
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

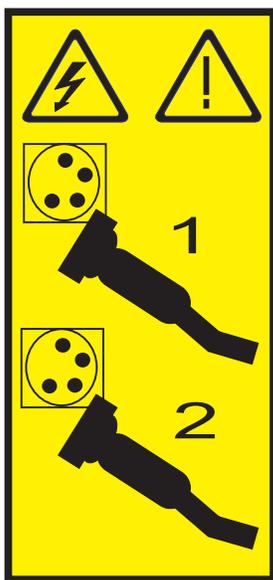
1. 統合 xSeries アダプター (IXA) カードを取り付ける前に、リモート管理アダプター・カード (P/N 09N7585 または地域ごとの互換値) またはリモート管理アダプター II カード (P/N 59P2984 または地域ごとの互換値) をこのサーバーに取り付ける必要があります。リモート管理アダプター・カードの取り付けについては、xSeries の資料を参照してください。リモート管理アダプター II の取り付けについては、リモート管理アダプター II の資料を参照してください。リモート管理アダプターまたはリモート管理アダプター II に付属している外部電源機構は取り付けしないでください。
xSeries モニターを、内蔵型の xSeries ビデオ・コネクタではなく、リモート管理アダプター II のビデオ・コネクタに接続します。リモート管理アダプターの取り付けが完了したら、システム BIOS とリモート管理アダプターのファームウェアを最新レベルに更新する必要があります。詳しい情報は、4 ページの『サーバー・ファームウェアの更新』を参照してください。
2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
3. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



___ 4. 重要:

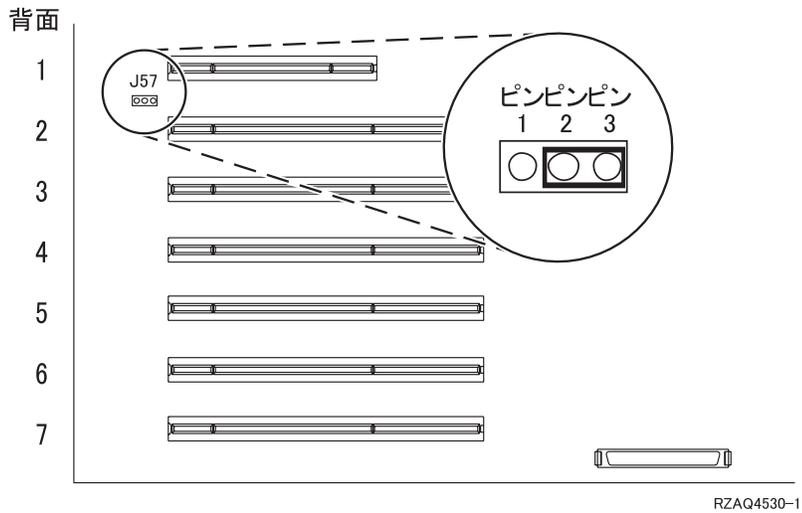
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

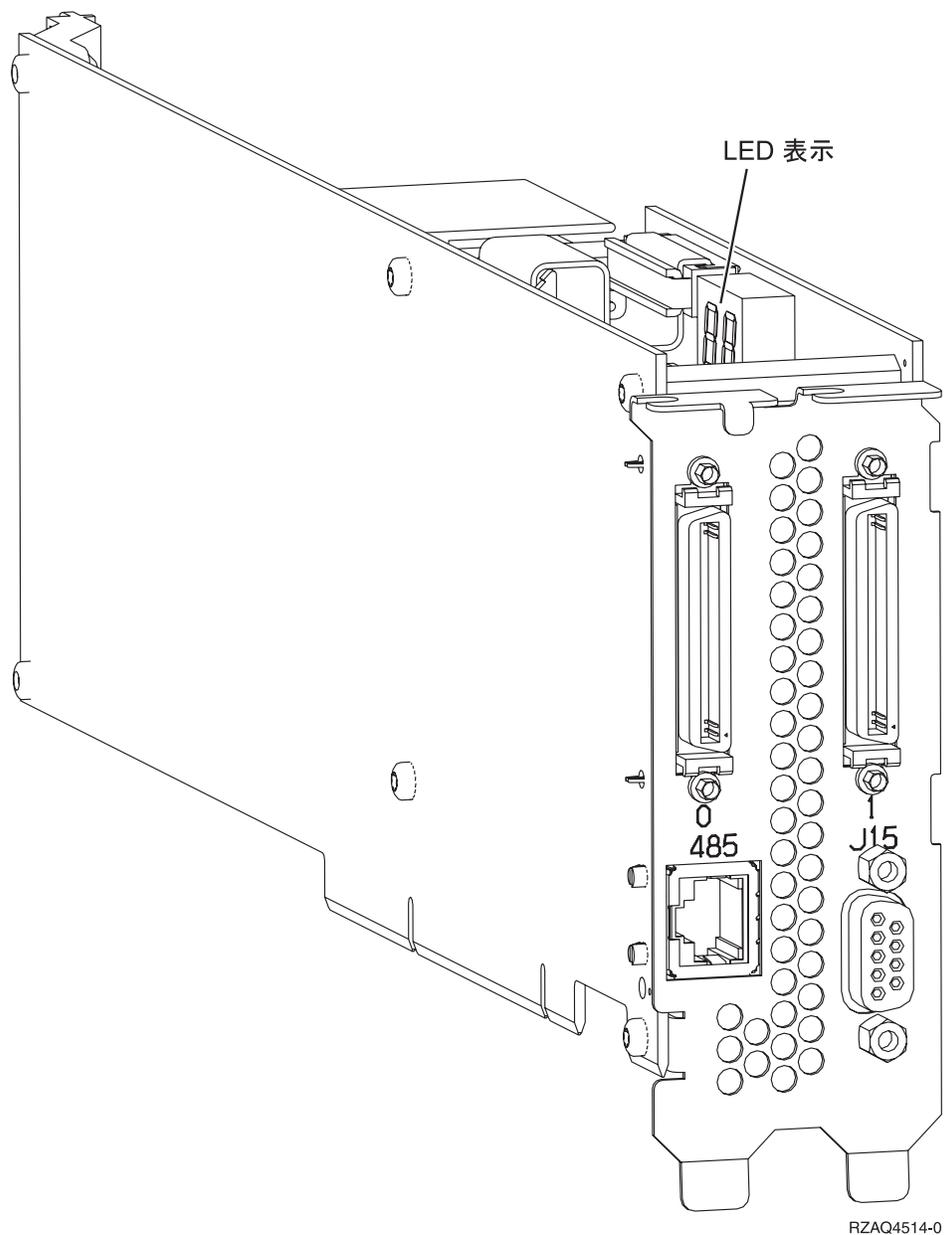
___ 5. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

___ a. J57 の位置を確認します。



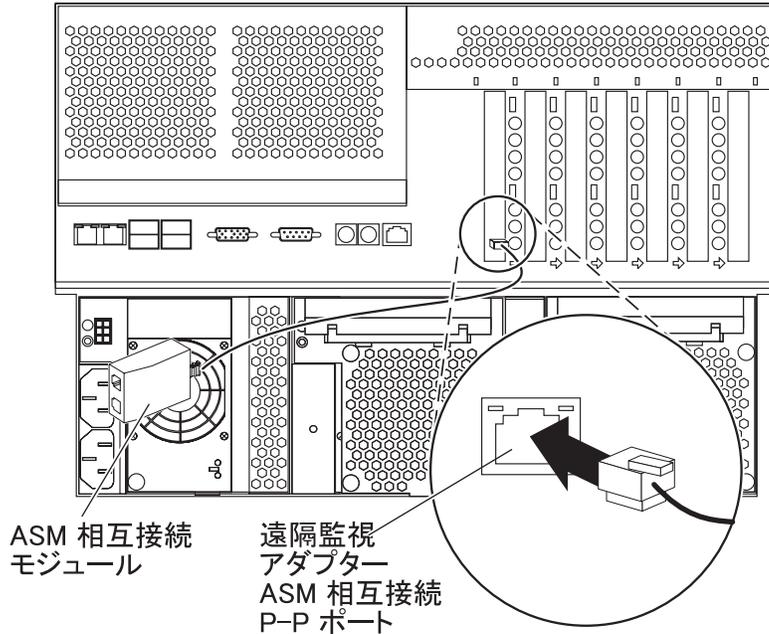
- __ b. ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。
- __ 6. xSeries 情報を参照して、カード位置 2 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。
- __ 7. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- __ 8. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- __ 9. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- __ 10. 取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、ケーブルのもう一方の端を以下のいずれかのように接続します。
 - リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。
 - リモート管理アダプター II が取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を、リモート管理アダプター II に含まれている拡張システム管理ブレイクアウト・ケーブル上の 2 つの ASM RS-485 コネクターのどちらかに接続します。
- __ 11. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM 相互接続モジュールまたは ASM ブレイクアウト・ケーブルの未使用ポートに接続します。
- __ 12. 取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、以下のいずれかを実行します。

- ・ リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ASM 相互接続モジュールの末端を、リモート管理アダプター ASM 相互接続ポート 485 に接続します。



RZAME505-1

- ・ リモート管理アダプター II が取り付けられている場合、拡張システム管理ブレイクアウト・ケーブルの末端を、リモート管理アダプター II (取り付けられていない場合) の ASM コネクタに接続します。詳しい情報は、リモート管理アダプター II の資料を参照してください。
- __ 13. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
 - __ 14. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
 - __ 15. iSeries サーバーを始動します。
 - __ 16. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 17. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 346

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

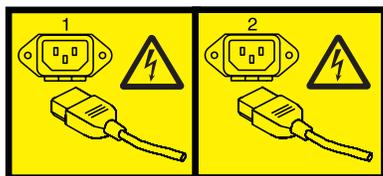
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

- 1. 統合 xSeries アダプター (IXA) カードを取り付ける前に、リモート管理アダプター II SlimLine オプション (P/N 73P9341) をこの xSeries サーバーに取り付ける必要があります。一部の xSeries 346 モデルは、リモート管理アダプター II SlimLine オプションがすでに取り付けられた状態で出荷されます。リモート管理アダプター II SlimLine オプションの取り付けについては、リモート管理アダプター II SlimLine オプションの資料を参照してください。xSeries サーバーにリモート管理アダプター II SlimLine オプションを取り付けた後、xSeries サーバーの BIOS、ベースボード管理コントローラー・ファームウェア、およびリモート監視アダプター II SlimLine オプション・ファームウェアを最新レベルに更新する必要があります。詳しくは、4 ページの『サーバー・ファームウェアの更新』を参照してください。
- 2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 3. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



— 4. 重要:

静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

— 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 4 (PCI ライザー・カード・ケージにある) にカードを取り付けます。

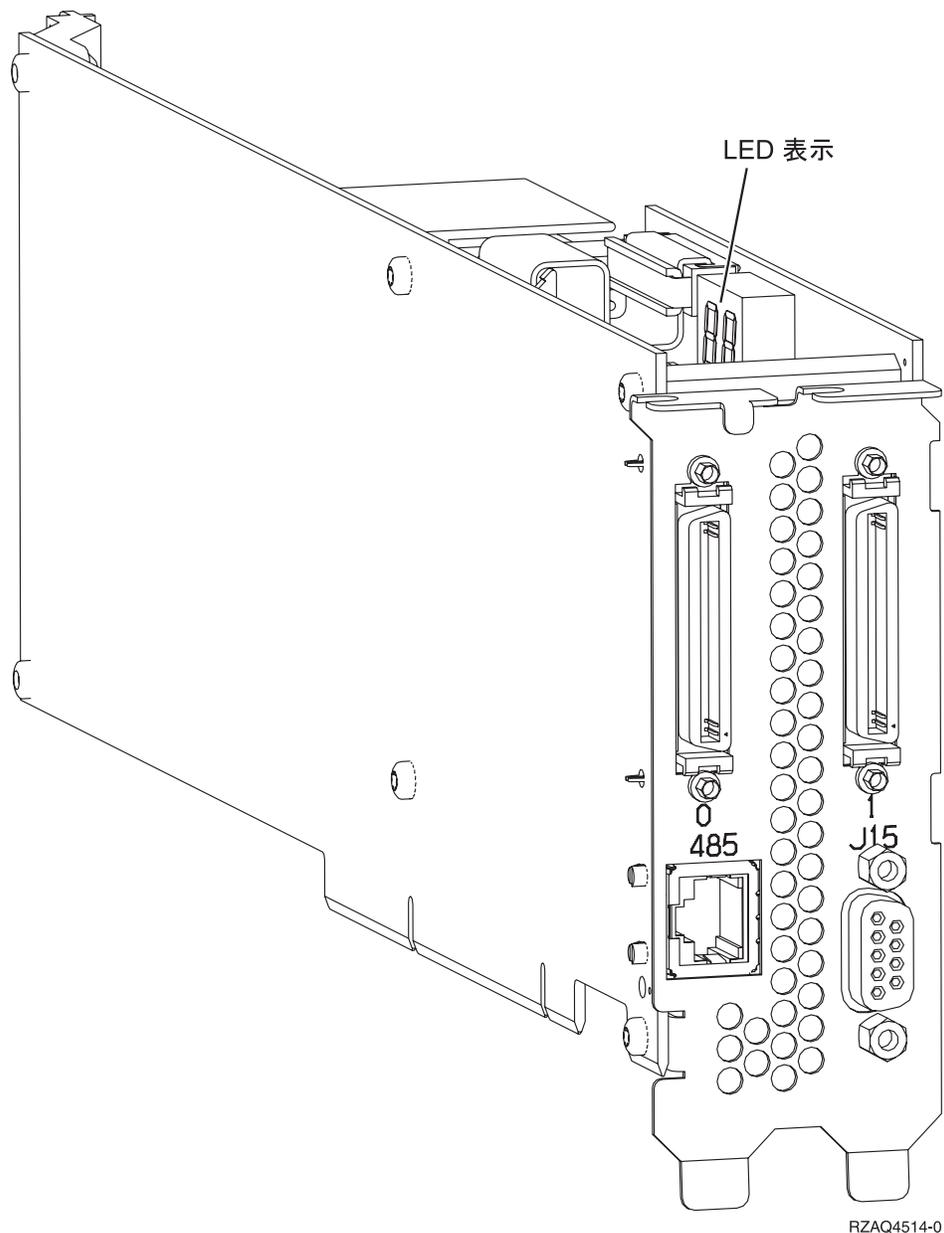
注: PCI ライザー・カード・ケージの両方のカード位置がカードによって使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に、そこから青いカード・エクステンダーを取り外す必要があります。

— 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。

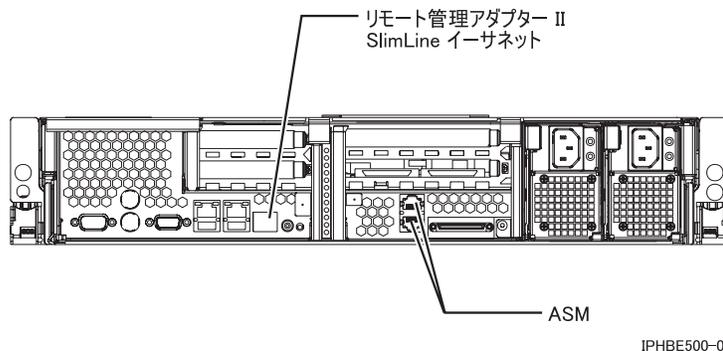
— 7. HSL ストレイン・リリーフ・ブラケット (P/N 97P5742) を xSeries サーバーの背面に取り付けます。中央の仕切りのくぼみの向きが下向きになるようにして、xSeriesサーバーに取り付けられた

IXA カードの HSL コネクタの上下の対応するスロット (0 と 1 のラベルが付いている) に、ブラケットのタブを差し込みます。これらのスロットは、IXA カードではなく、xSeries サーバーの背面にあります。その後、ブラケットを左にスライドさせ、所定の位置でロックします。

- 8. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 9. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 10. RS-485 シールド・ケーブルのもう一方の端を xSeries サーバーの背面の 2 つの ASM ポートのうち、上の方のポートに接続します。
- 11. 終端プラグ (P/N 59P2951) を xSeries サーバーの背面の ASM の未使用のポートに接続します。



- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 350

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

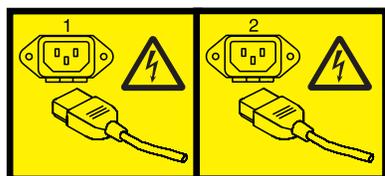
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

1. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
2. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



___ 3. 重要:

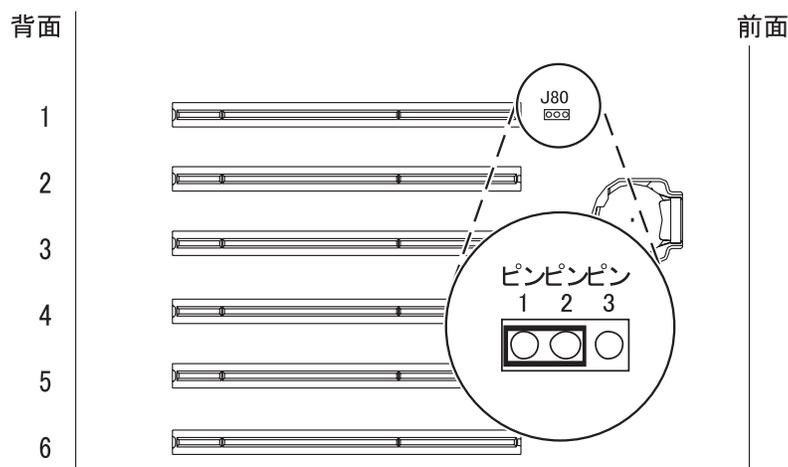
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

___ 4. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

a. J80 の位置を確認します。



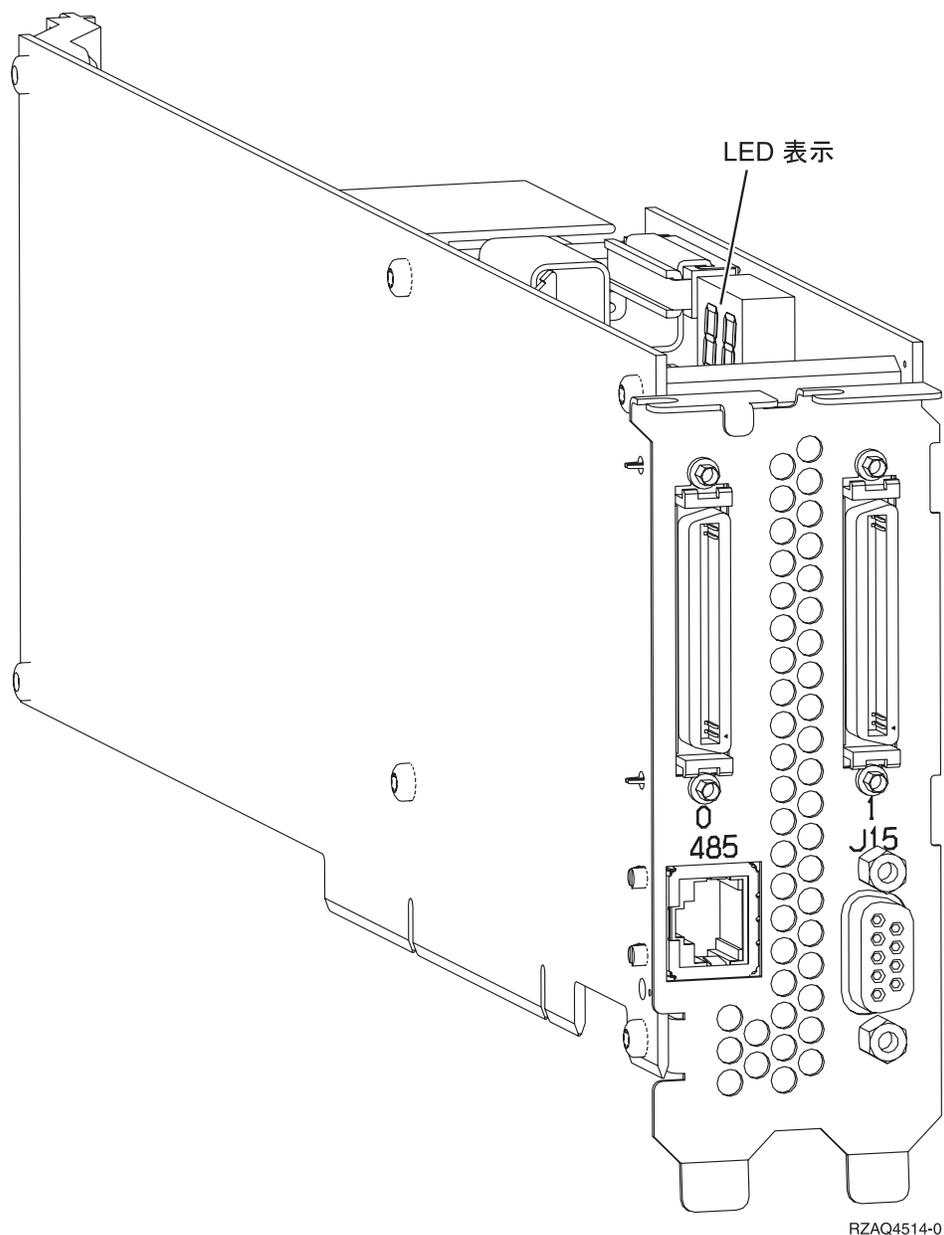
RZAQ4527-1

b. ジャンパーを、ピン 2 および 3 からピン 1 および 2 に移動します。

___ 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 2 にカードを取り付けます。

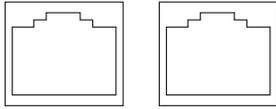
注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。

- 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



RZAQ4514-0

- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. ケーブルのもう一方の端をサーバーのどちらかの RS-485 ポートに接続します。



A RS485 B

RZAQ4517-0

- __ 10. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 11. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 12. iSeries サーバーを始動します。
- __ 13. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 14. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 360

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

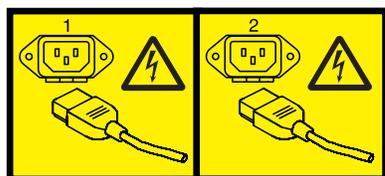
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

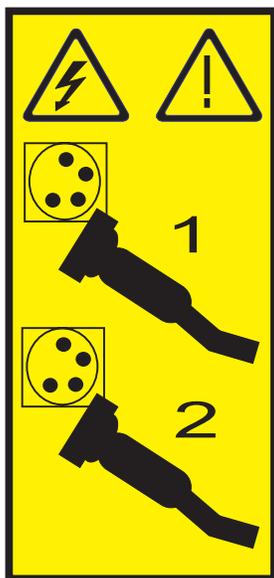
- 1. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 2. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



___ 3. 重要:

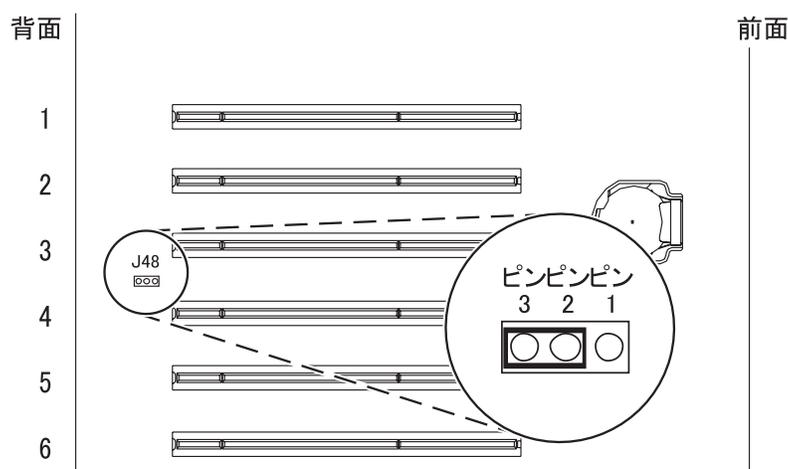
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

___ 4. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

a. J48 の位置を確認します。

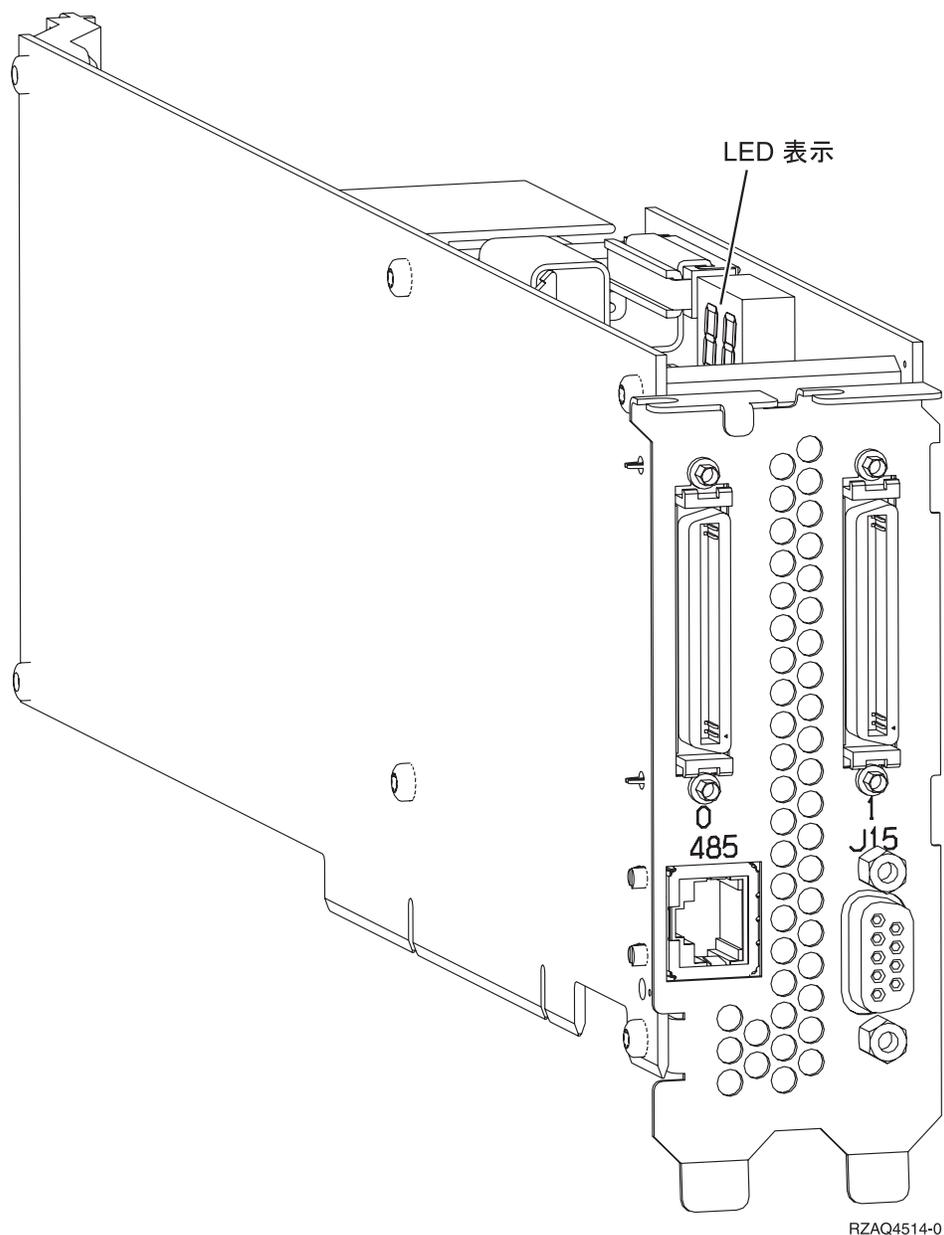


b. ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。

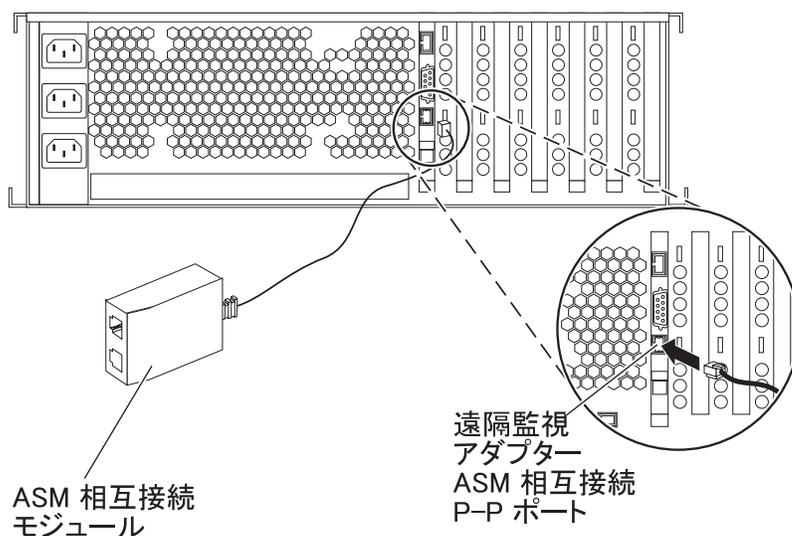
___ 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 3 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。

- 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。



RZAME501-1

- __ 10. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM 相互接続モジュールの未使用のポートに接続します。
- __ 11. ASM 相互接続モジュールの末端プラグをリモート管理アダプター ASM 相互接続ポート 485 に接続します。
- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 365

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

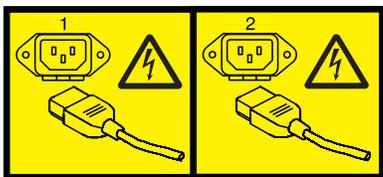
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

- 1. IXA 接続を正しく機能させるには、サーバーの ASM 相互接続サポートを使用可能にする必要があるかもしれません。これを行う方法については、5 ページのリモート管理アダプター II またはリモート管理アダプター II SlimLine ファームウェアの更新を参照してください。
- 2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 3. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



— 4. 重要:

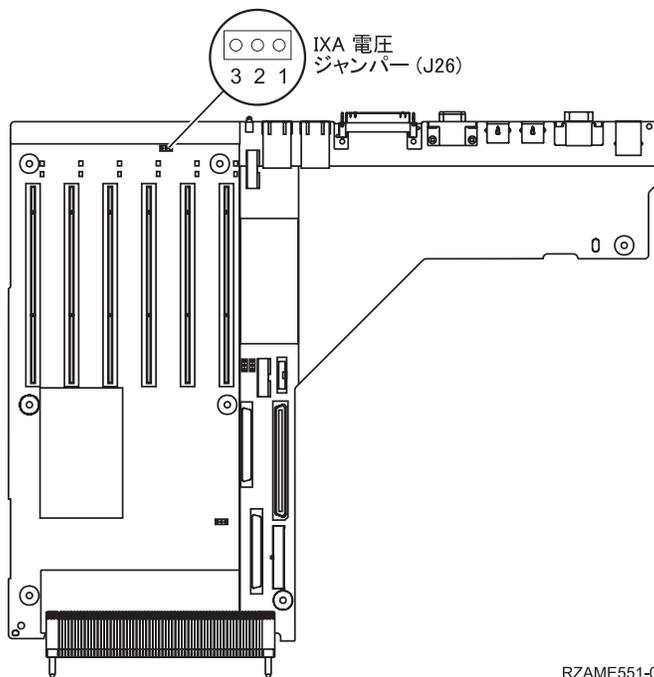
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

— 5. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

- a. J26 の位置を確認します。



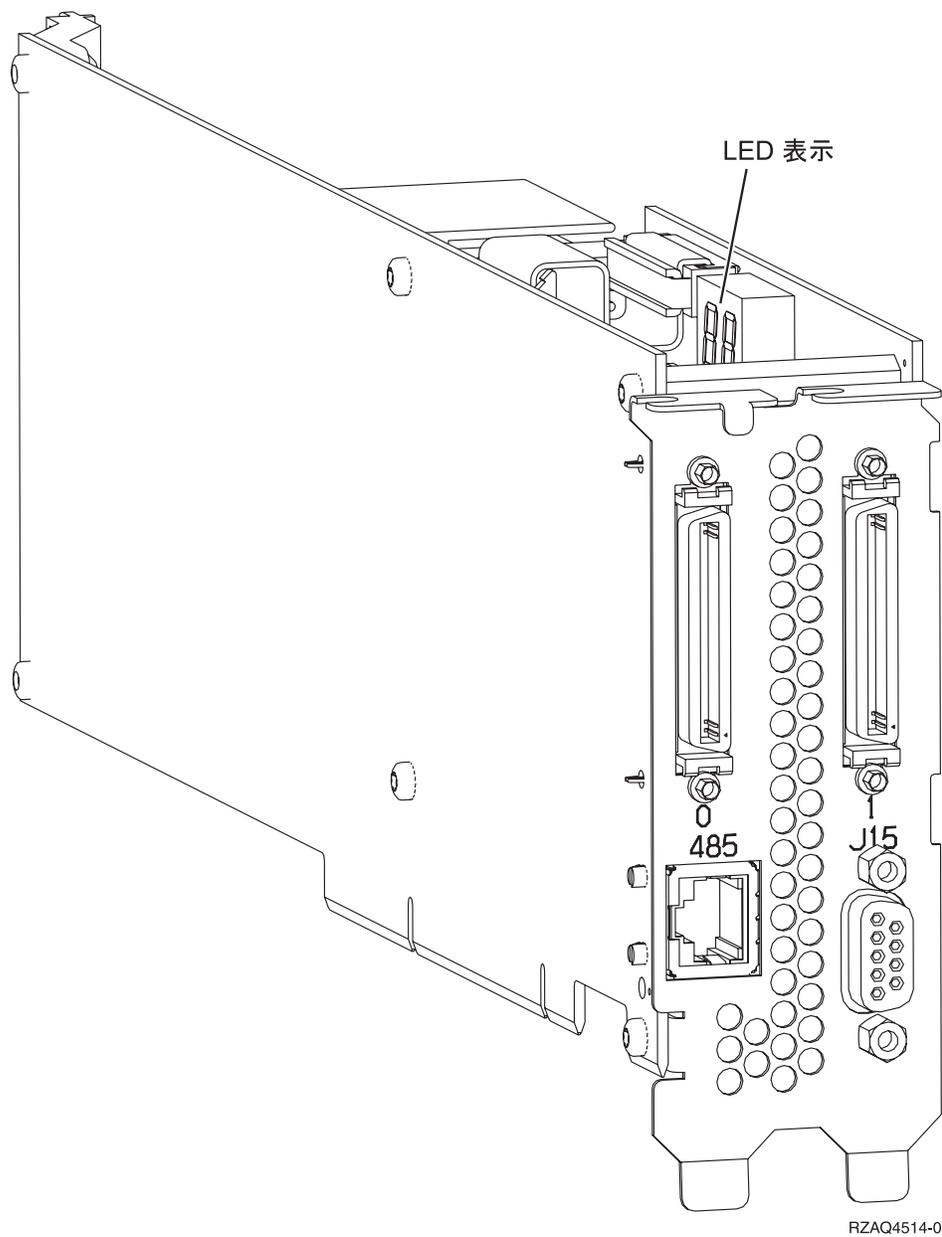
RZAME551-0

b. ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。

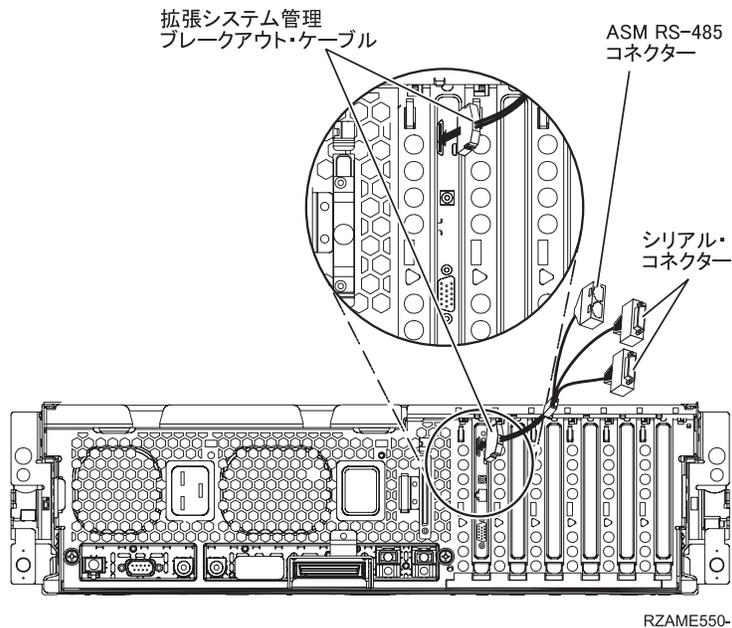
- 6. xSeries 情報を参照して、カード位置 3 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に IXA カード・エクステンダーを取り外す必要があります。

- 7. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 8. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 9. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 10. ケーブルのもう一方の端を、サーバーに付属する拡張システム管理ブレイクアウト・ケーブルの 2 つの RS-485 ポートのどちらかに接続します。



- __ 11. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM ブレークアウト・ケーブルの未使用の RS-485 ポートに接続します。
- __ 12. ASM ブレークアウト・ケーブルを、サーバーのリモート管理アダプター II の ASM コネクターに接続します。
- __ 13. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 14. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 15. iSeries サーバーを始動します。
- __ 16. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 17. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 366

注: このサーバーには、マシン・タイプ 1519 モデル 100 EC レベル H86427 以降に同梱されている、特別版の RS-485 シールド・ケーブルが必要です。このケーブルは、P/N 01R1484 で注文することもできます。

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

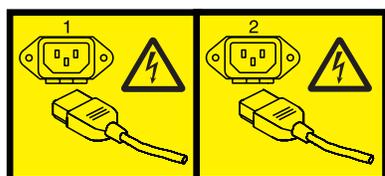
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

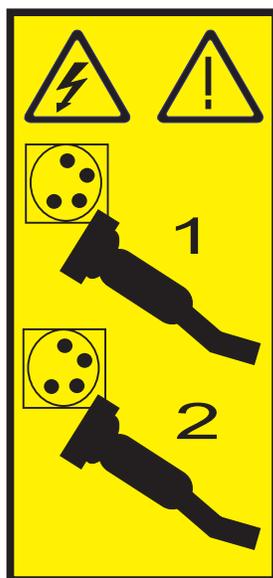
- 1. 統合 xSeries アダプター (IXA) カードを取り付ける前に、リモート管理アダプター II SlimLine オプション (P/N 73P9341) をこの xSeries サーバーに取り付ける必要があります。リモート管理アダプター II SlimLine オプションの取り付けについては、リモート管理アダプター II SlimLine オプションの資料を参照してください。xSeries サーバーにリモート管理アダプター II SlimLine オプションを取り付けた後、xSeries サーバーの BIOS、ベースボード管理コントローラー・ファームウェア、およびリモート監視アダプター II SlimLine オプション・ファームウェアを最新レベルに更新する必要があります。詳しくは、4 ページの『サーバー・ファームウェアの更新』を参照してください。
- 2. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 3. **xSeries** サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



— 4. **重要:**

静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

— 5. 次のようにして、カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

- J35 の位置を確認し、ジャンパーを取り付けて 2 つのピンを接続します。
- J40 の位置を確認し、ジャンパーを取り付けて 2 つのピンを接続します。

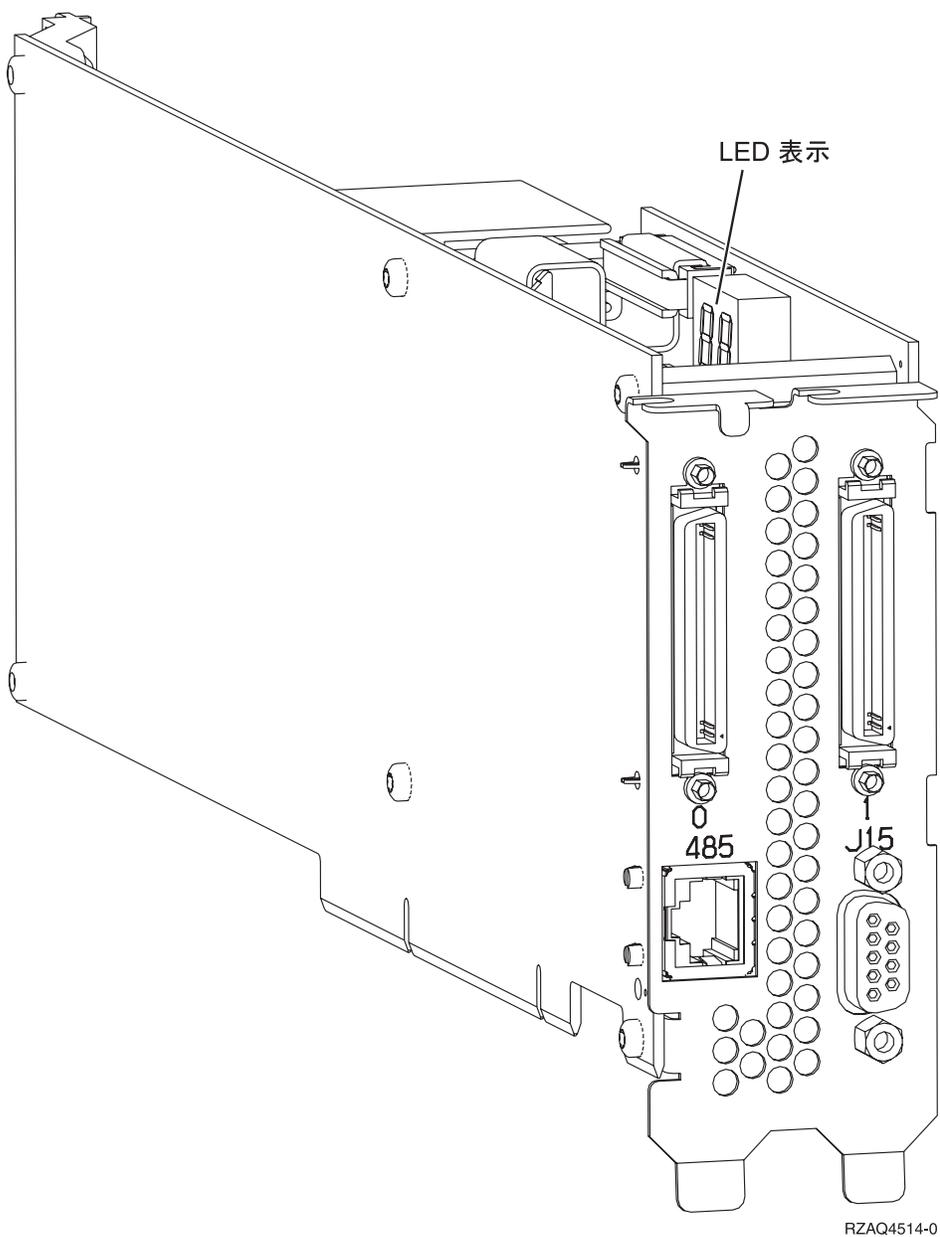
— 6. xSeries 情報を参照して、カード位置 2 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に、そこから青いカード・エクステンダーを取り外す必要があります。

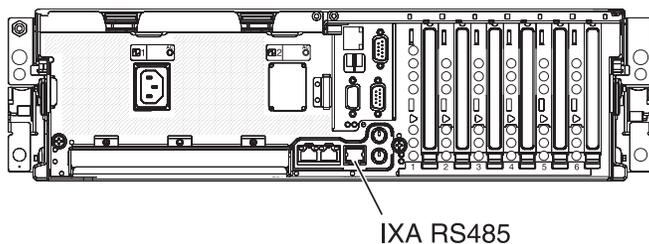
— 7. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。

— 8. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 セ

ンチメートル離して配線してください。



- 9. グレーの RS-485 シールド・ケーブル (P/N 01R1484) の「ADAPTER」というラベルのある側の端を、IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 10. グレーの RS-485 シールド・ケーブルのもう一方の端 (「SYSTEM」というラベルのある側) を、xSeries サーバー背面の「SYSTEM MGMT RS-485」というラベルのポートに接続します。



- __ 11. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 12. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 13. iSeries サーバーを始動します。
- __ 14. システムが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 15. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 440

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

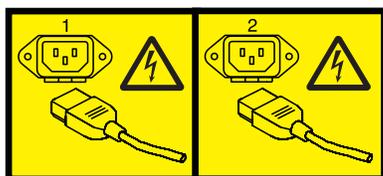
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

- 1. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 2. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



___ 3. 重要:

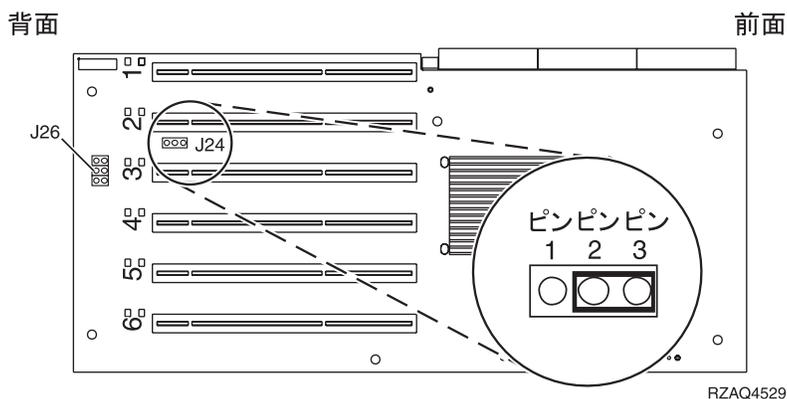
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

___ 4. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

___ a. J24 の位置を確認します。



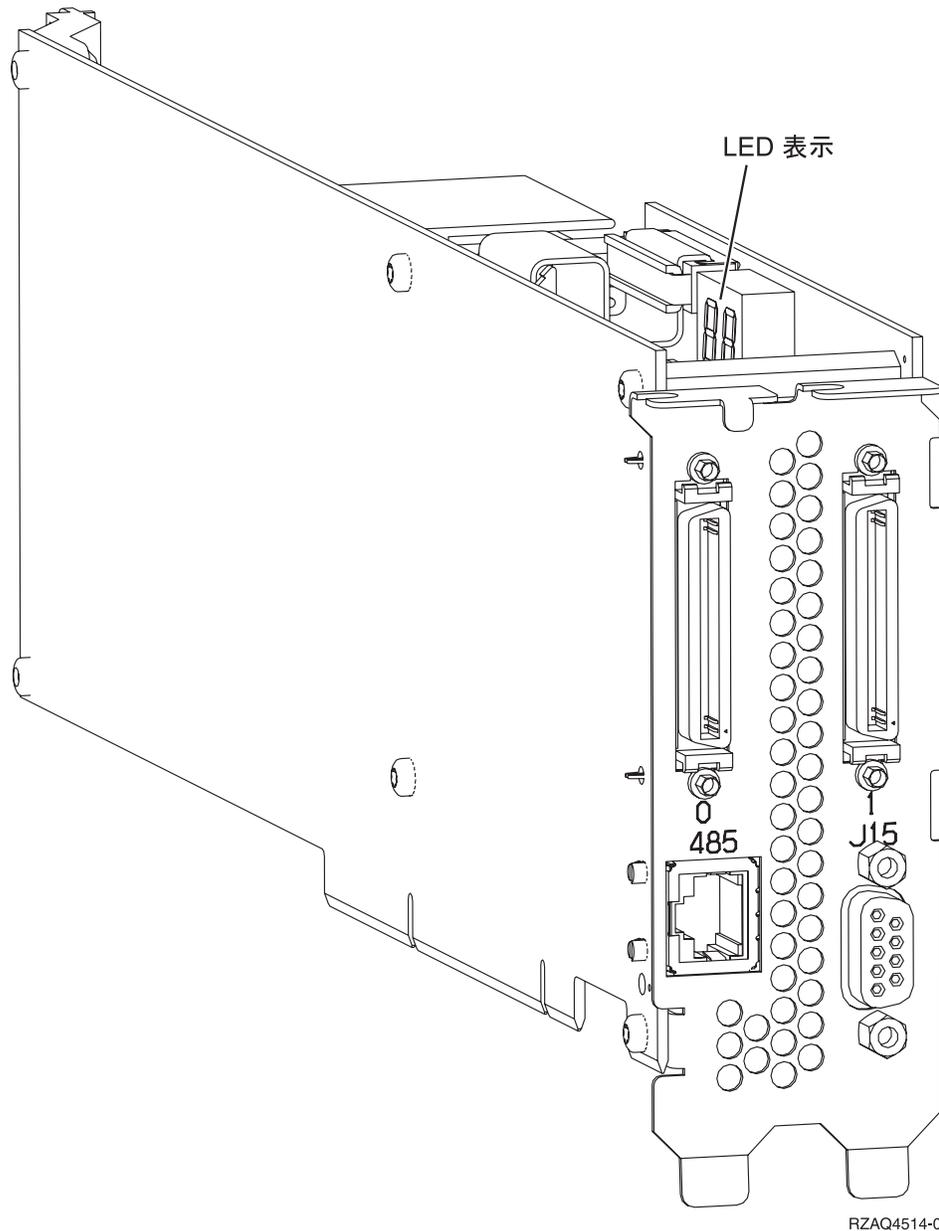
___ b. ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。

___ c. J26 を探し出して、ピン 1 と 2 にジャンパーを取り付けます。

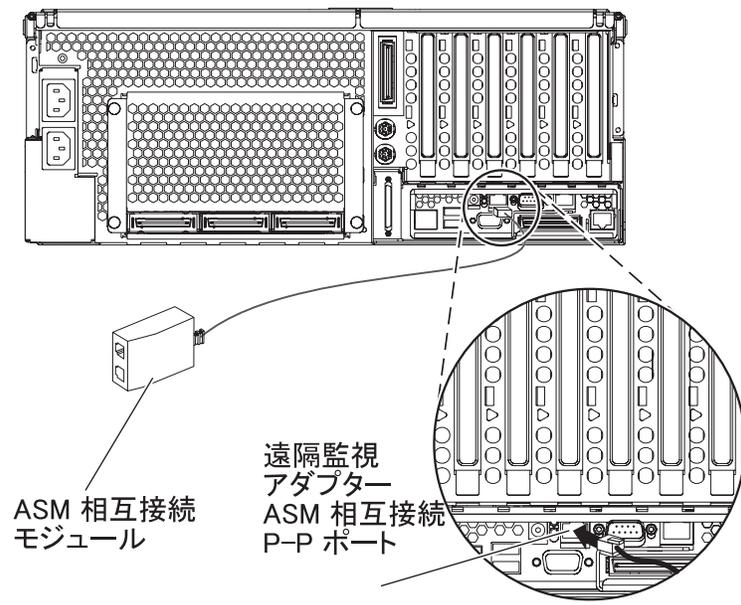
___ 5. xSeries 情報を参照して、カード位置 2 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に IXA カード・エクステンダーを取り外す必要があります。

- 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。



- __ 10. 終端プラグ (P/N 59P2951) を ASM 相互接続モジュールの未使用のポートに接続します。
- __ 11. ASM 相互接続モジュールの末端プラグをリモート管理アダプター ASM 相互接続ポート 485 に接続します。
- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

xSeries 445

IXA カードは、iSeries サーバー・システムの電源をオフにした状態でのみ取り付けることができます。

カードを取り付けるには、次のステップを実行します。一部のステップについては、ご使用の xSeries サーバーの情報を参照する必要があるかもしれません。

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントの電圧と位相がシステムの銘板のとおりかどうかを確認します。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. 電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

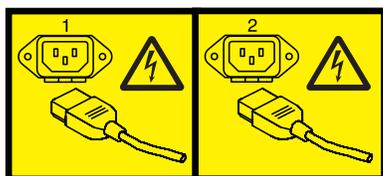
1. すべての電源をオフにします (特に指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

(D005)

- 1. xSeries サーバーの電源がオフになっていることを確認します。
- 2. xSeries サーバーの電源コードのプラグを、コンセントから抜きます。

注: このシステムには 2 次電源機構が備えられている可能性があります。この手順を続行する前に、システムの給電部がすべて完全に切断されていることを確認してください。

(L003)



または



3. 重要:

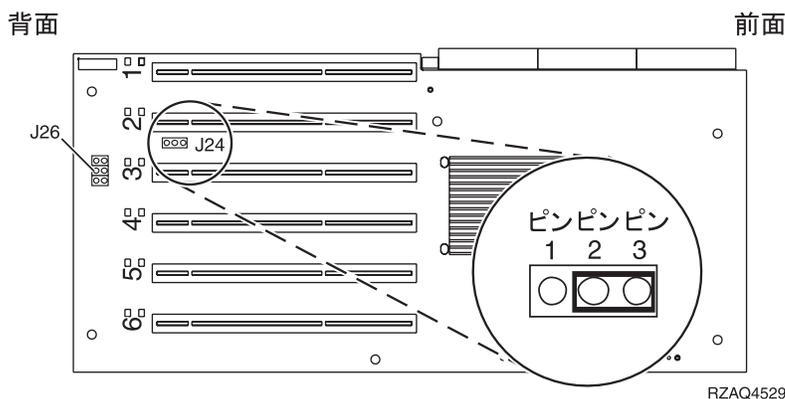
静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、ハードウェアの塗装されていない金属面にリスト・バンドを付けてください。

リスト・バンドを使用するときは、すべての電気安全手順に従ってください。リスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

リスト・バンドがない場合は、ESD パッケージから製品を取り出してハードウェアの取り付けまたは交換を行う直前に、システムの塗装されていない金属面に少なくとも 5 秒間触れてください。

4. カード位置に 3.3v 待機電力を提供します。

- a. J24 の位置を確認します。



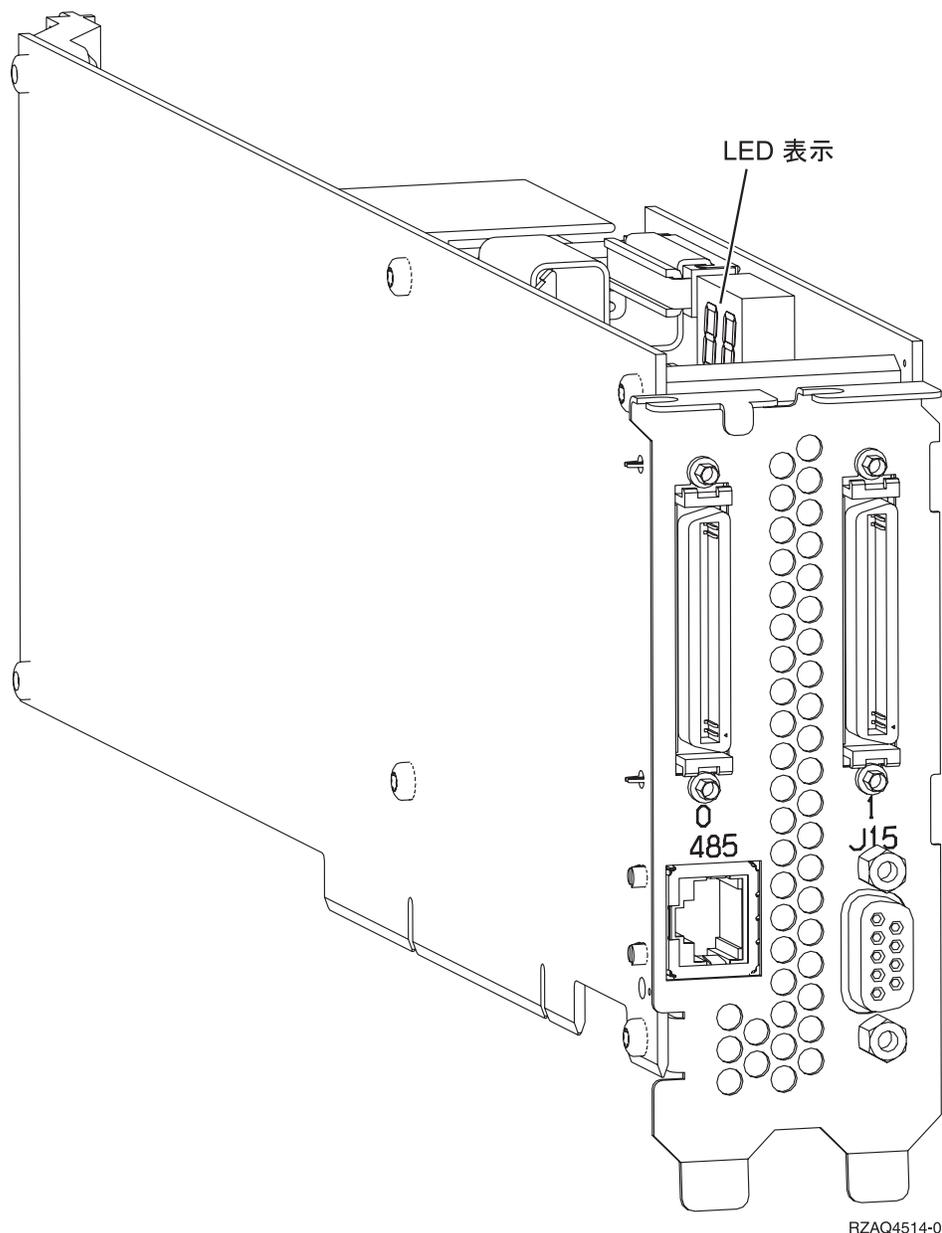
- b. ジャンパーを、ピン 1 および 2 からピン 2 および 3 に移動します。

- c. J26 を探し出して、ピン 1 と 2 にジャンパーを取り付けます。

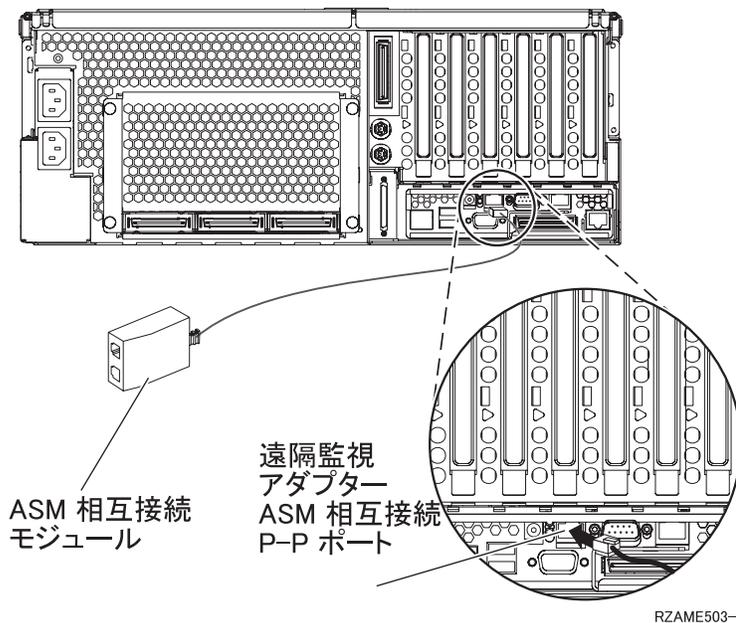
5. xSeries 情報を参照して、カード位置 2 にカードを取り付けます。

注: カードにより 2 つのカード位置が使用されるため、統合 xSeries アダプター (IXA) カードを正しい位置に取り付けるのに、既存のカードを移動しなければならない場合があります。また、IXA カードを取り付ける前に IXA カード・エクステンダーを取り外す必要があります。

- 6. カードが取り付けられたら、この手順に戻ります。
- 7. SPCN 接続ブロック (P/N 04N2652) を IXA カードの J15 位置に接続します。ケーブルを、システムの SPCN ネットワークに接続してください。ケーブルは、交流 (AC) 電源コードから最低 15 センチメートル離して配線してください。



- 8. RS-485 シールド・ケーブル (P/N 21P4162) を IXA カードの 485 ラベルに接続します。
- 9. 取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、ケーブルのもう一方の端を以下のいずれかのように接続します。
 - リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を ASM (拡張システム管理) 相互接続モジュール (P/N 03K9315) 上の 2 つのポートのどちらかに接続します。



- リモート管理アダプター II-EXA が取り付けられている場合、ケーブルのもう一方の端を、RSA II-EXA ブレークアウト・ケーブル (P/N 73P9280) の 2 つの ASM 相互接続 RS-485 コネクタのどちらかに接続します。(RSA II-EXA およびブレークアウト・ケーブルが接続された x445 の図については、『x445 User's Guide』を参照してください。)

- __ 10. 終端プラグ (P/N 59P2951) を RSA II-EXA ブレークアウト・ケーブルの ASM 相互接続モジュールの未使用ポートに接続します。
- __ 11. ASM 相互接続モジュールの末端プラグをリモート管理アダプター ASM 相互接続ポート 485 に接続します。取り付けられているリモート管理アダプターに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - リモート管理アダプターが取り付けられている場合、ASM 相互接続モジュールの末端を、リモート管理アダプター ASM 相互接続ポートに接続します。
 - リモート管理アダプター II-EXA が取り付けられている場合、RSA II-EXA ブレークアウト・ケーブルの末端を、サーバーの RSA II-EXA ブレークアウト・ポートに接続します。
- __ 12. 発注してあった高速リンク (HSL) ケーブルをカード 0 および 1 ラベルに接続します。詳しくは、IBM eServer ハードウェア Information Center の『高速リンク (HSL) の情報』を参照してください。
- __ 13. 電源コンセントに xSeries サーバーのプラグを差し込みます。
- __ 14. iSeries サーバーを始動します。
- __ 15. iSeries サーバーが IXA カードの取り付けを検出して xSeries サーバーの電源を入れるまで待ちます。

重要: xSeries 電源スイッチを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。また、ハードウェア・サービス・マネージャーを使って xSeries サーバーの電源を入れしないでください。

注: IXA カードの SPCN ファームウェアでは自動更新を実行する必要があるため、電源オンに数分かかる場合があります。

- __ 16. 取り付けを完了するため、iSeries Information Center の『iSeries Windows 環境』に進みます。

注: xSeries サーバーにリモート管理アダプター II-EXA が取り付けられている場合、 xSeries コンソール用のビデオ・ケーブルは、必ずリモート管理アダプター II-EXA ビデオ・ポートに接続してください。



Printed in Japan